

■農業機械が高額で購入も難しいことから、故障をきっかけに離農する人が増えている。JAがトラクター、田植え機、コンバイン等を取引して農家へ貸し出すことはできないか。

■所有する農業機械を長く持たせるためのメンテナンスが経営を続けるなかで大切だと思えますので、各農機センターへご相談ください。リースについては、皆が同時期に使うことになるため、取り扱いが難しいと思われれます。

■北浦の米倉庫が老朽化しており、建て替えをお願いできないか。

■船越・脇本の倉庫をメインとして倉替えを提案いたします。フレコンの取り扱いなどを含めて全農とも協議をしてまいります。

■リスク管理積立金について教えてほしい。また、これまでに積み立てたものは全て取り崩しているのか。

■固定資産の取得・修繕や経営リスク対策として積み立てしており、今回の剰余金処分案で1.5億円を積み立ていたしますが、これまでに取り崩したことはありません。

■剰余金処分案の事業分量配当金について、販売手数料額の割合で分配することだが、生産資材等の利用高に依じた配当は考えていないか。

■生産資材等の利用高に依じた配当も十分に認識しておりますが、大口対策を実施していることや個人または同一家族で複数の未収口座を開設しているなどの要因により、販売手数料額の割合で計算してまいりますので、ご理解願います。

■出資配当について、一昨年は1.0%、昨年は0.5%の配当だったが、今年度は0.25%になった。なぜ年々配当率を下げたのか教えてほしい。

■令和4年度の事業利益は2億7200万円、前年対比64%に減少しております。配当は、事業外収益を含まない本来の事業から生じた利益で行うという考え方に基づいており、事業利益の減少を考慮して設定した配当率となります。

■JAの基礎は組合員の出資金であり、出資金があるからこそJAが成り立っていると思う。出資配当を重視したほうがいいと考えるが、そうした議論は理事会ではなかったか。

■組合員の出資を基礎に事業を行っていることは十分に認識しております。そのうえで事業分量配当に重きを置いた理由は、減収や肥料高騰があったことから農業振興に役立てたいという考えに基づくものです。また、現在の金利情勢をみれば定期貯金で0.002%、国の指標となる長期金利は0.3%~0.4%であり、これらと比較しても決して低い率での提案ではないと認識しておりますので、ご理解願います。

■内部留保を手厚くするよりも、老朽化している施設等の更新を考えてもらえないか。

■各施設とも老朽化が進み改修が必要であることから、長期的な計画に従い修繕しているところです。組合員にプラスとなるよう、剰余金はできる限り出資配当や事業分量配当によって還元してまいりますので、ご理解願います。

■私たちが積み立てた内部留保をそのまま合併JAに持ち込むことに疑問を感じる。合併前に組合員に還元するべきではないか。

■農業振興に取り組むためにも合併JAには強固な経営基盤が必要不可欠であり、内部留保の全てを持ち込むこととなります。剰余金についてはできる限り出資配当や事業分量配当により皆様にも還元してまいります。

■自己資本比率は前年度と比較するとどうなったか。また、県内JAの状況を教えてほしい。

■令和3年度末の自己資本比率は12.53%で0.02%上昇しました。自己資本比率は比較的規模の小さいJAで高く、令和3年度確定値で、県内13JAのうち当JAは8番目となっています。

■役員の定年年齢は定款等で決まっているのか。

■定款に定めはありませんが、役員候補者は改選年の4

月1日現在70歳未満の者とする申し合わせを理事会ですべてしております。

■人事異動の周期が早くなかなか信頼関係を築くことができないため、考慮してほしい。

■金融・共済に携わる職員には一定期間で異動しなければならぬルールがあることや、限られた職員数で対応している事情もありますので、ご理解願います。

■営農指導員の人材育成のため、どのような計画を策定しているか。

■営農指導員には若手職員が多く育成に時間がかかるため、品目やエリアごとにベテラン職員と若手職員を配置し、同行等により現場での実践研修も行いながら育成強化に努めております。

■合併期日を令和8年4月に延期したのは県1JAを目標してのものか。

■現在、組織再編協議会から3JAが離脱した状態ですが、協議への復帰の呼びかけを継続し、まずは10JAで先行して令和8年を目標に合併を目指していきます。

■組織再編について、本場に協議が進んでいるのか。

■合併の目標日が令和8年4月1日に延期となり、各委員会や部会で協議を再スタートした状況で、まだ報告できるものがありませぬ。今後、合併に関しては組合員へ丁寧な説明を行ってまいります。

■県1JA構想の実現は可能か。

■人口や組合員の減少の影響を考えると単体JAでは対応しきれなくなるのが目に見えており、県1JAを将来的には実現しなければならぬと考えております。

■(株)JA秋田なまはげライフサービスのガソリンスタンドでは割引等の特典はあるのか。

■JAカードを利用して給油すると、請求時に1ℓあたり2円の割引になります。